

令和4年 第6回米原市定例教育委員会

日 時：令和4年6月24日（金） 午後3時30分開会
場 所：米原市役所 コンベンションホール

(出席者)

教 育 長：馬淵教育長
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員
教 育 部：口分田部長
教 育 総 務 課：梶田課長
学 校 教 育 課：山口課長
生 涯 学 習 課：平山課長
ス ポー ツ 推 進 課：高木課長
学 校 給 食 課：藤田課長
図 書 館：梶川館長
書 記：奥村

1 開 会

2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。

梅雨に入りまして、急に寝苦しい夜が続いておりますけれども、こういう時に体調を崩さないように気を付けなければいけないと思っております。

市内の教育関係の状況ですが、6月21日に第1回の人事訪問が終了しております。全小中学校共に、落ち着いて学んでいる様子を見て安心しているところです。また、昨年度GIGAスクール構想が急に始まって、1学期はWi-fiが整わなかったりいろいろなことがありましたが、人事訪問で学校を訪問する中で、かなり使い込んでいる状況に驚いています。小学校1年生の児童でも先生の指示に従って、自分の答えを先生に送ってそれが電子黒板に映っているということをやられています。小学校6年生では、パワーポイントで自分のまとめたものをプレゼンテーションするということもできています。つい最近の教育研究所の児童生徒へのアンケートも、タブレットで回答してそれを集約するというような状況になってきております。遠くない未来に学力テストもタブレットで実施できるのでは、というような話にもなってきているようです。

今日の午前中で、全校長先生の1年間の目標に関わる当初面談を終了しました。その時に、子どもたちが自分でつかむ自分の未来に係る各学校の構想図について、夢と志を

持たせる教育をどのように進めるのか、昨年1年かけて練り上げられたものを説明していただいて、かなりいいものになってきていると思いますし、それを学校運営協議会に諮った上で、学校だよりで保護者にも伝えられている。そういう意味で、米原市が一つの方向に向かって教育をしている、米原の教育は子どもたちに夢と志を持たせる教育だと、自己肯定感、自己有用感を高揚させる教育だということがはっきりしてきているということに喜びを感じてきているところです。それから、当初面談で各校長先生にお願いしたのは、特に志を持たせる教育のなかで、実際に自分の子どもたちの近くにいる地域の方、志を持って地域を支えていただいている方を、しっかりと紹介してほしいということです。例えば、読み聞かせのボランティアの方でも、ボランティアの方ですだけではなくて、この方は何年もこの学校に来ていただいて、ほかの場所でも活躍されている方なんだという紹介をしてほしいということです。そのことによって、自分もできるのではないかと思うのではないかと、とお伝えしました。スクールガードの方に対しても当然そういうことがあると思いますし、例に挙げたのは消防団の方です。年間わずかな手当てで、仕事を持ちながら地域のためにいざというときは動いてくださる、そんな消防団の方の存在もしっかりと伝えてほしいということです。そのほかにもいろいろあると思いますが、そういうことを子どもたちにしっかり伝えてほしい、そういうことによって、自分が何ができるかということを考えていくということをお願いしました。

6月9日に校園長会議を開催しましたが、その時に、1学期の保護者会で一人一人の子どもの良さや成長および可能性がしっかりと担任から伝えられるように、今からしっかりと準備をしてほしい、全職員を挙げて子どもの良いところを見つけてほしいとお伝えしています。こういうことによって保護者も自分の子どもの成長を喜ばれるでしょうし、学校にも協力的になっていただけるのではないかと考えております。現在このような方向で市の教育を進めております。以上、最初の挨拶とさせていただきます。本日も御審議よろしく申し上げます。

3 会議録承認

令和4年第5回定例会議事録

4 所属長報告

(1) 教育総務課長

報告事項につきましては、6月6日に契約審査会において息長小学校体育館照明他改修工事外5件の審査をいただきました。また、6月9日には米原小学校大規模改造建築工事外8工事と3件の監理業務の入札を執行しております。6月20日には、定期監査報告会が開催されております。同じく6月20日の契約審査会におきまして、河南中学校柔剣道場屋根瓦補強工事外2件の審査をいただいております。今後の予定につきましては、6月30日に息長小学校体育館照明他改修工事外5件の入札執行と、7月22日には令和3年度の決算審査を受けます。7月25日には第7回の定例教

育委員会を予定しています。

(2) 学校教育課長

報告事項につきましては、先ほど教育長からも報告のありました、人事訪問が今週終わりました。本日、校長の当初面談も無事に終わることができました。今後の予定につきましては、今年の第1回目のM-Sipを計画しています。また、今年度の第1回目の特別支援教育支援委員会を行います。続いて、教育センターの方です。現在のところ、第1回の初任者研修、TMT、学力状況調査等、予定どおり進んでおります。教頭研修会では、教育長からもお話をさせていただきました。学びっこ事業についても、すでに始まっているところです。

(3) 生涯学習課長

報告事項につきまして、市の芸術展覧会が6月4日で終了しました。10日間で1,496人の方に来場いただきました。前回質問のありました、市内の方の出品数ですが、全体合計196点のうち、市内の方が54点の出品でした。人数では、写真を出される方は複数出品される方がいらっしゃいますので、158人に対して42人が市内の方という結果でした。5月29日の鎌刃城まつりは、当日の天候にも恵まれ、現地視察の八講師城コースは定員20人の満員参加、鎌刃城コースがほぼ満員の45人で行いまして、午後の講演会も63人延べ128人の方にお越しいただき、歴史ファンの多さを実感しました。

6月7日から3日間、生涯学習課で米原中学校の2年生の生徒5人を職場体験に受け入れました。仕事の内容も歴史取材のサポートや、学びあいステーションの愛称を現地で張り付けたりと、いろいろなメニューを用意して小さな達成感を感じてもらえるように工夫をしました。我々も生徒が協力し合ってトライする姿に刺激を受けましたし、一つの成果として、本日配布しております資料が、地域情報誌に特集記事として掲載されます。中央に生徒の充実感を感じる表情が写った写真を取上げていただいています。一つの自己有用感といいますか、生徒の励みになればと思っています。

また、直木賞作家の今村翔吾さんの講演も満員で、とてもよかったという感想が寄せられていますし、6月19日のルッチプラザピアノリサイタルでは、216人の方に来場いただき、催しの方もようやく元に戻りつつあると感じております。

今後の予定につきましては、6月26日の職員採用試験ですが、学芸員1人の募集に対し、10人の方に申し込みをいただいております。6月28日のルッチまちづくり大学では、待望の教育長を講師にお迎えして、現代の英語教育のあれこれと題して、小学校の英語教育に焦点を当てた講義を計画しており、学生の皆さんもとても楽しみにしております。7月も双葉中学校の職場体験の受け入れを行うほか、7月21日の滋賀県社会教育委員研修会では、このコンベンションホールでの開催が決定しましたので、南部方面の方にも、ぜひこの便利な立地や場所を知っていただければと思っています。最後に、ルッチプラザのピアノリサイタルは、大人気の清塚信也さんを

お招きするということで、早々にチケットを完売しているという状況です。

(4) 図書館長

報告事項につきましては、第1回図書館協議会では、図書館の取組について様々な協議をいただきました。5歳児の保護者アンケートの中で、子どもが大きな声を出してしまうため、図書館利用を遠慮してしまうという意見を複数いただきましたので、その点について協議をいただきました。子どもと保護者がしゃべりながら本と出合ってもらえるような、子ども優先利用時間帯を月に一回、米原読書の日に6か月間試行的に実施することで進めていきたいと考えております。今後の予定につきましては、山東図書館、近江図書館とも、夏休みに向けて様々な取組を予定しています。夏休み読書リレーや、読書記録ノートのように継続した利用を促す取組と、人形劇のような新たな利用を促す取組を混ぜながら、読書活動を推進していきたいと考えております。特に人形劇は人気の絵本を原作にした劇を演じてもらうことで、利用者の方に楽しんでいただけるようにしていきたいと考えております。

(5) スポーツ推進課長

報告事項につきましては、ふれあいスポーツフェスティバルは、伊吹地区のスポーツ振興会が主体となって、ソフトボールなどの大会を開催されました。また、6月19日には、山東地区でもバレーボールの大会を開催されました。市民スポーツ大会についても各競技団体で開始がされました。また、ホッケーの普及推進に係る小学校の出前事業の開催状況につきましては、すべての小学校で開催していただく予定で調整をしているところです。

今後の予定につきましては、スポーツ少年団資格移行に関する説明会は、指導者の資格が大きく変わることから、スポーツ少年団の方を対象に、県から担当者に来ていただき、長浜市と共同で説明会を開催するものです。次に国スポの関係です。実行委員会の設立に向けた発起人会を7月8日に、また、設立総会を8月に予定しております。夢高原かつとびいぶき2022は、6月16日から募集を受け付けましたところ、翌日には定員の500人に達しましたので、現在最終の取りまとめをしているところです。

(6) 学校給食課長

報告事項につきましては、5月10日から各小学校2年生を対象に、食に関する指導で旬の野菜を食べようシリーズを行いました。子どもたちにグリーンピースなど、旬の豆のクイズを出しながら、当日の給食に使っている野菜について教えました。指導後の給食では、野菜を頑張って食べようとする子どもたちの姿が見られました。

今後の予定につきましては、7月1日に、子どもたちが日ごろ食べている給食を保護者の方にも試食していただく、試食会を開催します。26人の保護者から応募がありました。また、7月12日に学校給食試食会と、第1回学校給食運営委員会を開催します。最後に1学期の学校給食は、7月19日が最終日です。

5 所属長に対する質疑

A委員 : 欠席事項に関してですが、5月の7日以上欠席が若干増えている。県の統計では、5月と11月に欠席が増える傾向にあり、5月は連休明けで子どもたちが疲れていたたり、新学期の新しい環境に慣れてきて気が緩んで、増える傾向があるのかなと判断していたのですが、米原市でも若干上がるかなと思いました。もう一つは11月ですけど、以前は体育祭や運動会などの行事が苦手な子が休みがちになることが、統計的に分かっていた。5月は難しいかもしれませんが、11月については、もう少し何とかするのではないかと考えていました。ここ2、3年の運動会の見直しなど、行事に対する見直しの機運が高まってきており、欠席者を減らすという観点から、今一度、先生方で共有して、11月までに間に合うものは見直しを検討していただいて、欠席者の増加が少しでもなくなるとよいと思っています。

2点目が、図書館のことです。ラジオで紹介されていた本が読みたくなり、検索をしてみたが、市内の図書館にはなかったため、仕方がないので購入しようかと考えていました。別の日に図書館へ行った際に問合せたところ、やはりありませんとのことでしたが、その際にリクエストカードの記入を勧められました。あまり深く考えずに何気なく記入して提出したところ、数日後に本が届いたと連絡がありました。本がないというのが自分の中の結論でしたので、本を出してくださり非常にうれしかったのですが、不思議だったので尋ねたところ、米原市の図書館では、そういう要望に対して、県立図書館とか近隣の図書館と相互連絡して、もしお互いが本を所有していて貸出可能であれば、お互い融通を付けたり、予算面はあるけど、可能な限り新しく購入する場合もあると説明をしていただきました。そこまでして要望に応じてくださることを知りませんでした。今一生懸命読んでいますが、非常にうれしかったため、お話しさせていただきました。

B委員 : 先ほどは、芸術展覧会について、詳しく説明いただきありがとうございます。回を重ねるごとに無鑑査の方も増えてきていると思いますが、無鑑査でも出品してくださっているのも、非常にいいことだなと思いました。

それから、前回、校歌のことをお話されたので、校歌の歌詞を集められた本があるのを思い出して探してきました。一冊は、市内の小学校と中学校の校歌、旋律とそれぞれの学校の歌詞が書かれたもの、これが平成27年に、北村先生が各学校を周って集められて、編集された冊子をお願いしたものです。もう一つはみーなといって、湖北の情報誌で、校

歌を歌えばということで、湖北地域の小学校だけですが、廃校になった学校も含めて54校の校歌、これは歌詞だけが載っています。作曲された先生のコメントなどが載っていて、校歌はいろいろな思いとか願いを込められて作詞されているし、そのふるさとの愛着があるようにということを含めて作られている、非常に良いものであると感じました。

- C委員 : いじめ事案12番について、子どもに対する謝罪等はされたのでしょうか？
- 事務局 : 基本的に、学校として謝罪や保護者等に連絡するなどの対応をしております。ただ、事案によっては、被害側の保護者の意向により断られることもあります。学校としては加害側にも話して、本人同士の謝罪や保護者への連絡などをしていきたいのですが、なかなかそこに行きつけないパターンもあります。でも、時期を見て、必ずそこまで到達するようにお願いしています。
- C委員 : 子ども同士がきちんと謝ることが必要だと思いますが、家同士の関係が入ってきていて、結局保護者の思いを学校が通さなくてはいけない現状もあるかもしれません。クラスの中でも一人一人が本当に大切にされているのか、道徳や学級活動の場などでも、1人のことをみんなが考えるというようなことが、日常で少しでもできていくといいなと思います。大人同士の関係が持ち込まれる事案が増えてきているので、学校の中では、子どもたち同士は相手のことを考えて、トラブルに対してみんなが理解できるような体制づくりができるとういと思います。
- 事務局 : もう一つ、学びっこが始まったとのことですが、様子を教えていただきたい。
- 事務局 : 1点目のみんながみんなのことを考えるのは本当にその通りと思います。学校の方も、今コロナで繋がりが断ち切られている状況の中で、子ども同士をつなぐことに力を傾けてもらっています。
- C委員 : 学びっこについては、一時期通常の開催ができませんでしたが、今年度は通常通りの開催で、各学校、放課後1時間の指導を行っているところです。
- C委員 : 図書館について、私自身も読み聞かせのために本を選びに行きますが、1か月に30冊貸していただけるので、1回の読み聞かせに30冊くらい借りて使うことができます。自分で検索したりして、よいと思う本を選んでいくのですが、常に親切に対応して下さいます。私も探るのが大変なので、図書館の職員に選書を依頼すると探しておいて下さって、必要な本がない場合は問合せをしていただいたり、とても助かっています。今年は、子どもたちが読み聞かせに対してとても興味を持ってくれるので、作者に視点を当てて読み聞かせをしているんですけど、そ

うするとその作者についての本を子どもたちが探してきたりとか、図書室に来る機会が増えたりして、大変喜んでます。地域の図書館を使うために、少しでも助けになったらいいと思いますし、子どもたちの読書の機会を増やすためにも、図書館があることが大変良いことだと、私自身も実感として感じています。

もう一つ、生涯学習課の職場体験をしていただいて、私が子どもころは、市役所がどんな仕事をしているか、知る機会もなく大きくなりましたが、今の子どもたちは大変良い機会を貰えていると思いますし、地域のために働いている姿を見て、自分たちも体験するということが、すごく力になっており、素晴らしいことと思います。

D委員 : 問題行動やいじめについて、上がってきますが、これに対するいろいろな支援体制がある中で、保護者において、子育てとかしつけなど、問題が起きる前に、気軽に相談できるような窓口はありますか。特に園児のしつけなどは、相談したい人が多いのではないかと思います。手軽に相談できる場所があれば、問題も減るのかなと思いましたのでお尋ねします。

コロナについては、状況を見ながら各行事も戻りつつあると思いますが、地域の祭りなどの行事もコロナが理由で辞められて、今後立ち直るのか、再開されるのかと我々も危惧しているところですが、学校行事は、この1、2年で力を入れて戻るようにしていかないと、親同士のコミュニケーションや関わり合いは、そういう行事を通じて人間関係ができていくので、特にコロナの影響で皆さんの意欲が無くなっているのので、力を入れる必要があると思います。

かつとび伊吹ファイナル大会ということで、最後になりますがいつも参加している人からは、非常に残念という声を聴きます。アスリートで上位に入られる方は、ほかの大会の前哨戦としてトレーニングとして参加している人が多いということで、そういう方を中心に残念という声を聴きました。

最後に、最近、熱中症の問題がよく話題になって出てきますが、体育を中心に野外活動などを、中止にするのか延期にするのかの判断基準は、市で各学校に対してあるのかお尋ねします。

事務局 : 熱中症の判断基準については、気象庁の基準に基づいて対応しています。

相談窓口の件については、問題行動だけではなく、学校の方にいろいろな相談があった場合は、スクールカウンセラーやS S Wに繋いだりという対応をしています。多くの子どもや保護者に関わっていただいています。また、市の発達支援センターとかにも相談してもらっています。

もう1点、前回お尋ねのあったコロナの感染者数について、今日現在までに、小学生300人、中学生68人、教職員が15人です。

支援の補足で、子育て支援課に学校連携マネージャーが配置されており、各学校を回っていただき、気になる子ども、特に貧困などそういった子どもを中心に、それぞれの関係機関につなげるという活動をしています。子育て支援課と学校教育課、福祉の各機関が連携しながら対応しているところです。

教育長 : 学校行事のことについて、各学校、相当学校行事を取り戻してきています。修学旅行も中学校は2泊3日で行っていますし、近々では、双葉中学校の合唱コンクールは、保護者は学年ごとに入れ替えで入ってもらって実施するというので、徐々に元に戻して実施しています。いろいろな学校が、当初面談での校長との話では、かなり元に戻す方向でいろいろな行事を検討しているところです。

E委員 : 問題行動の12番のケースは、去年支援のクラスに行っていてよかったということですか。

事務局 : 通常級でしたが、支援級の体験に行ってみたら、よかったということです。

E委員 : 保護者がそのまま通常級を希望されているとのことですが、本人も悪気があってではないと思いますが、みんなが嫌がるようなことをしてしまって、クラスで浮いてしまっているとか思うんですけど、いじめというのは子どもに限らず大人の世界にもあって、ハラスメントや嫌がらせもあります。子どもの姿を通して親自身が大人としてどう感じて対応するのが大事だと思います。例えば、相手の親が謝罪をしても、被害者の親は拒否されるというケースを最近目にしますが、問題がいつまでも尾を引いてしまうのは、子ども自身にとってどうなのかと思うところもあります。子どもも正しいことをしたり、過ちをしたりとか、間違いをして失敗を経験することで大きくなっていくと思いますので、親として、我が子を守りたいから許せないという気持ちがあっても、それを許すという気持ちになっていくことが大切だと思います。親の目線として、子どものために何が一番大切なのか、守ることも大事ですし、そういうことを引き金に、受けた側でも逆に嫌なことをしてしまう側になるかもしれないので、そういうことを通していろいろなことを感じて大きくなってもらうことが大事だと思います。時代がすごいスピードで変化しているので、先生方も対応するのが大変だと思いますけども、親自身もしっかり対応していきたいと思うのは、保護者の目線で感じることで

もう1点は、最近すごく暑くなってきてまして、昨日、子どもの登校について行ったのですが、国も会話をしない場面ではマスクを外そうと言

われていますが、子どもたちはきっちりとマスクをしていまして、外してもいいよと声を掛けるのですが、子どもたちはマスクを外すとおしゃべりをしてはいけないのがあって、しゃべりたいからマスクをしているんです。間違いではないんですけど、マスクをしていると、発汗をして水分を失い、ミネラルを失っていきます。でも、マスクを着けていると、のどの渇きは感じにくいので、熱疲労や熱中症にかかりやすいので、しっかりと水分を取ることと、息苦しいと感じる場面はマスクを外していいんだよということを、家庭でもしっかりと子どもに伝えていきたいと思います。

5 議案審議

議案第 21 号 米原市特別支援教育支援委員会委員の委嘱および任命について

【学校教育課】

(内容)

米原市付属機関設置条例により、米原市特別支援教育支援委員会委員を別紙のとおり委嘱および任命したいので、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 21 号 後援等名義使用承認（後援）について 【スポーツ推進課】

(内容)

別紙のとおり後援等名義使用承認申請書（後援）が提出されたので、米原市教育委員会後援名義の使用承認に関する規程により、この案を提出するものである。

事業名 ながしんカップ U-10 in BIG・BREATH

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

6 質疑応答

特になし

7 その他

(1) 令和 4 年第 7 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 4 年 7 月 25 日（月）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和4年第8回定例教育委員会の開催について

日 時：令和4年8月19日（金）午後3時30分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

9 閉 会

以上をもって令和4年第6回定例教育委員会を午後4時30分に終了した。